

～排泄の自立について～

大津市こども発達相談センター

◇こんなお悩みありませんか

- ・トイレの失敗が続いている
- ・もう小学生なのにとっても、つつい注意してしまう



こども発達相談センター
ホームページはこちら



まず、体の病気がないかを確認してもらいましょう（受診）

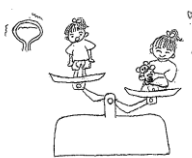


受診の結果、体の病気がないを確認してもらったら…
「どうしておもらしが多いのだろう」とその子なりの理由を探してみましょう

◇子どもの気持ち



その子なりの背景や理由をふまえて、対応を考えていきましょう

背景・理由	対応のポイント
・気にしていない (ぬれていても気にならない) ・鈍感（ぬれていることに気づかない） 	・ぬれていることや冷たさ、汚れに気付くように声をかける ・汚れたときにどうするかを根気強く教える
・トイレによいイメージがない 	・トイレを安心できる場所として工夫する 怒ってトイレに連れて行かない 明るくする ドアを半開きしておく 好きなものをおく（本、キャラクター等）
・尿意を感じにくい	・膀胱がいっぱいになっていることをイラストでイメージできるように教える
・やりたいことが優先になる ・見通すことの苦手さ 	・優先順位を教える ・排泄の後の楽しみ、プラスの見通しを伝える

◇工夫の例

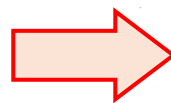
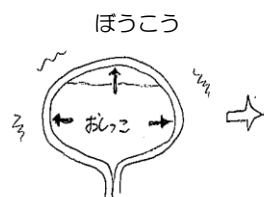


◎イメージしやすいようにサポートする

*実際に汚れた時にどうするかを絵に描いたり、一緒に体験して教える



*絵で教える



*文字で教える

ぼうこう
膀胱がいっぱいなときは

- ① やりたいことをいったんやめる
- ② トイレに行く
- ③ やりたいことの続きをする



- ① やりたいことを続ける
- ② もらしてしまう
- ③ 気持ち悪い



◎ポイント制・ごほうび制

子どものやる気ができる方法を子どもと一緒に考えましょう。

例) トイレに座れたら1つシール。出たら2つシール。流せたら1つシール。
シールが10個たまったら、この中からお菓子を選べるよ。



♥大切なのは穏やかに教えてゆくこと。

♥失敗しても叱らないで。自分に自信をなくしたり、いっそうかたくなになってしまうこともあります。

♥排泄は生活の一部なので、トイレ以外のことに目を向けることも大切です。

♥小さな成功も褒めることで自信がつき、排泄自立につながります。

「できるようになる」までの
プロセスを丁寧に支える
ことが大切です

周囲の支援



「できるようになりたい」
要求やねがい

「できた！」
達成

「やってみよう」
挑戦

